

事業の概況・商品群別の概況(連結)

当期において、国内では、2025年の医療・介護の将来像の実現に向けて医療制度改革が進展しました。医療機器業界においても、医療の質向上と効率化、地域医療連携に寄与するソリューション提案が求められる厳しい経営環境となりました。海外では、欧米の政策動向に不透明感はあるものの、医療機器の需要は総じて堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、3か年中期経営計画「TRANSFORM 2020」をスタートさせ、「高い顧客価値の創造」「組織的な生産性の向上」による高収益体質への変革を目指すとともに、「地域別事業展開の強化」「コア事業のさらなる成長」などの重要課題に取り組みました。商品面では、クリニカルアシスタントサービスや医療介護ネットワーク

システム、ホルター心電計を発売し、診療所市場向け商品ポートフォリオの拡充に注力しました。また、急性期病院向けには中位機種ベッドサイドモニタを発売しました。さらに、国内販売会社制を支社支店制に移行、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡の事業を譲受するなど、事業基盤の強化を図りました。

当期の売上高は前期比4.8%増の1,742億4千9百万円の増収となり、営業利益は前期比6.9%増の145億1千7百万円、経常利益は前期比3.2%増の145億1百万円となりました。また、特別損失の計上や、米国の税制改正の影響により法人税等調整額が増加したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比0.1%増の91億5千4百万円となりました。

① 生体計測機器



心電計 ECG-2400シリーズ

脳波計、筋電図・誘発電位検査装置、心電計、心臓カテーテル検査装置、診断情報システム、関連の消耗品(記録紙、電極、電極カテーテルなど)、保守サービスなど

国内

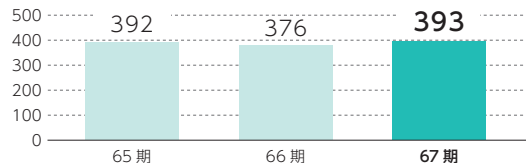
心臓カテーテル検査装置群や診断情報システムが好調に推移したほか、心電計群も堅調に推移しました。脳神経系群は前期並みを維持しました。

海外

心電計群は好調でしたが、脳神経系群が前期実績を下回りました。

売上高 393 億円 (前期比 4.4%増)

(億円)



② 生体情報モニタ



ベッドサイドモニタ CSM-1901

心電図、呼吸、SpO₂(動脈血酸素飽和度)、NIBP(非観血血圧)などの生体情報を連続的にモニタリングする生体情報モニタ、臨床情報システム、関連の消耗品(電極、センサなど)、保守サービスなど

国内

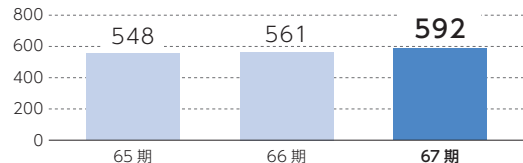
臨床情報システムが好調だったほか、センサ類などの消耗品も堅調に推移しました。

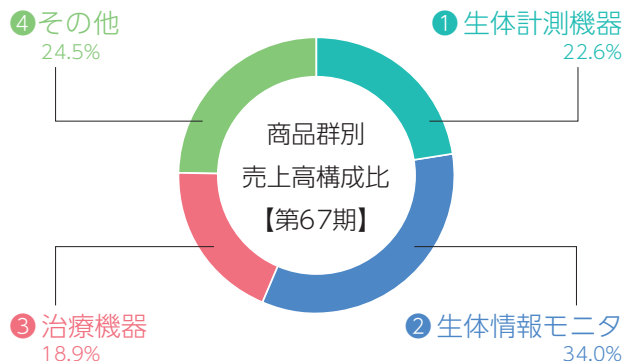
海外

米州、欧州、アジア州で増収となり、特に米国での売上が大幅に伸長しました。一方、その他地域は前期における大口商談の反動もあり減収となりました。

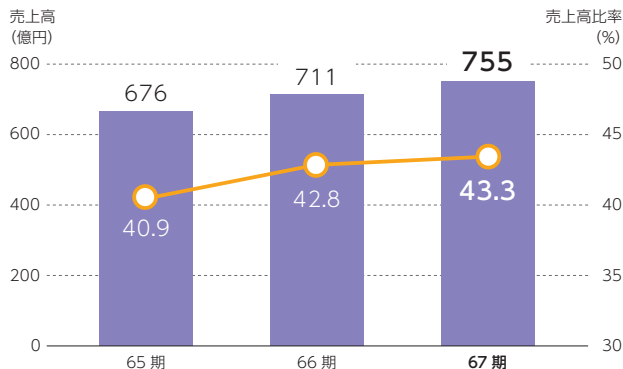
売上高 592 億円 (前期比 5.5%増)

(億円)





■ 消耗品・保守サービス売上高の推移



③ 治療機器

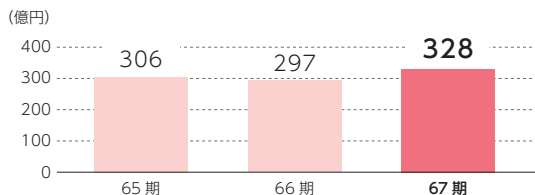


自動体外式除細動器 AED-3100

除細動器、AED（自動体外式除細動器）、心臓ペースメーカ、人工呼吸器、麻酔器、迷走神経刺激装置、人工内耳、関連の消耗品（電極パッド、バッテリーなど）、保守サービスなど

国内	AEDが更新需要の回復による販売台数の増加に加えて消耗品も伸長したことから、好調に推移しました。除細動器や人工呼吸器も好調でした。
海外	除細動器が全ての州で売上が大きく伸長しました。AEDは米州、欧州で好調に推移しました。

売上高 328 億円 (前期比 10.6%増)



④ その他

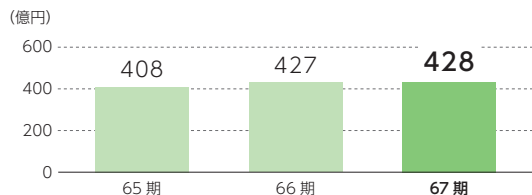


全自動血球計数器 MEK-9100

血球計数器、臨床化学分析装置、超音波診断装置、研究用機器、消耗品（試薬、衛生用品など）、設置工事・保守サービスなど

国内	検体検査装置が低調に推移しました。
海外	血球計数器が中南米、欧州で堅調に推移しました。

売上高 428 億円 (前期比 0.1%増)



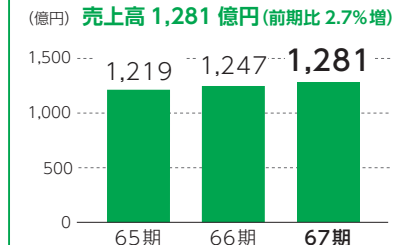
事業の概況・地域別の概況 (連結)

国内市場

急性期病院、中小病院、診療所といった市場別の取り組みを強化するとともに、消耗品・保守サービス事業の拡大に注力した結果、売上を伸ばすことができました。市場別には、大学病院市場が診断情報システムや臨床情報システムの更新商談の受注もあり、好調に推移しました。PAD*市場におけるAEDの販売も好調だったほか、私立病院市場も堅調に推移しました。診療所市場の売上は前期実績を下回りましたが、官公立病院市場の売上は前期並みを維持しました。この結果、国内売上高は前期比2.7%増の1,281億4千4百万円となりました。

※PAD(Public Access Defibrillation)：一般市民によるAEDを用いた除細動。PAD市場には公共施設や学校、民間企業などが含まれる。

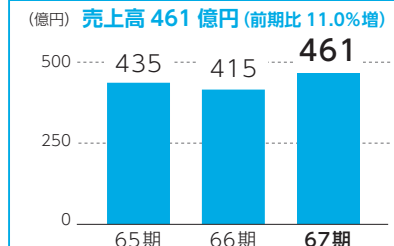
国内売上高推移



海外市場

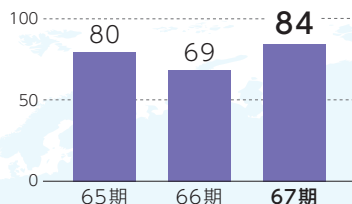
生体情報モニタ、除細動器、AEDを中心に、米州、欧州、アジア州で売上を伸ばすことができました。米州では、米国、中南米ともに売上が大きく伸長しました。欧州では、ロシアが好調に推移したほか、ドイツ、トルコでの売上が回復しました。アジア州では、中国が好調に推移したほか、中近東での売上が販売代理店網の整備などにより回復しました。その他地域は、前期におけるエジプトでの大口商談の反動もあり、減収となりました。この結果、海外売上高は前期比11.0%増の461億5百万円となりました。

海外売上高推移



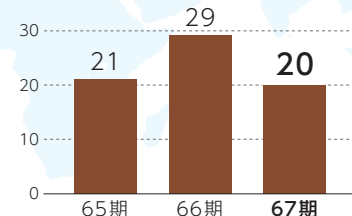
欧州売上高推移

(億円) **売上高 84 億円 (前期比 21.1%増)**



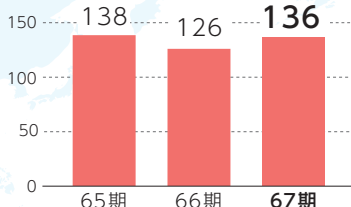
その他地域売上高推移

(億円) **売上高 20 億円 (前期比 31.6%減)**



アジア州売上高推移

(億円) **売上高 136 億円 (前期比 7.9%増)**



米州売上高推移

(億円) **売上高 220 億円 (前期比 16.1%増)**

